

琉球大学学術リポジトリ

高良倉吉先生略歴・研究業績

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学法文学部 公開日: 2013-05-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/26094

高良倉吉先生略歴・研究業績

略歴

- 一九四七年一〇月 沖縄県島尻郡伊是名村字勢理客に生まれる
- 一九五四年二月 伊是名小学校一年三学期から南大東小中学校に転校
- 一九六三年四月 首里高校に入学
- 一九六七年四月 国費沖縄留学生として愛知教育大学に入学
- 一九七一年三月 愛知教育大学教育学部中学校教員養成課程を卒業。同年四月、京都大学文学部国史学研究室聴講生となる（七三年三月まで）
- 一九七三年四月 沖縄県沖縄史料編集所主事（後に専門員）に採用される
- 一九八六年四月 組織統合により沖縄県立図書館史料編集室専門員となる
- 一九八七年四月 異動により沖縄県立博物館主査となる
- 一九八八年四月 県を退職し浦添市立図書館長となる
- 一九九一年四月 沖縄学研究担当参事兼浦添市立図書館長に昇任
- 一九九三年一月 琉球王国史の基礎的研究で九州大学より博士（文学）の学位取得
- 一九九四年四月 浦添市を退職し琉球大学法文学部助教となる
- 一九九五年四月 琉球大学法文学部人文学科日本文化専攻課程教授に昇任

- 二〇〇九年四月 琉球大学 国際沖縄研究所教授を併任（二〇一一年三月まで）
二〇一〇年一月 琉球大学 附属図書館長を併任（二〇一二年一〇月まで）
二〇一二年一月 琉球大学 学長補佐を併任（二〇一三年三月まで）
二〇一三年三月 法文学部 国際言語文化学科 琉球アジア文化専攻課程教授を定年退職

賞 罰

- 一九八一年三月 『琉球の時代』で沖縄タイムス出版文化賞受賞
一九八八年十二月 『琉球王国の構造』で沖縄文化協会賞比嘉春潮賞受賞。同年七月、地域活性化への貢献で日本青年会議所よりTOY P大賞受賞
一九九〇年十二月 『琉球王国史の課題』で沖縄タイムス社より伊波普猷賞受賞
一九九七年一月 琉球王国史の研究で沖縄協会より沖縄研究奨励賞受賞
二〇〇四年一〇月 国際交流基金より国際交流奨励賞・日本研究賞受賞

主な活動

- 一九七四年 沖縄国際海洋博覧会沖縄館展示検討委員
一九七六年 浦添市史編集委員会委員

- 一九七七年 法政大学沖繩文化研究所地方研究員
- 一九七九年 宜野湾市史編集委員会委員
- 一九七九年 渡名喜村史編集委員会委員
- 一九八〇年 沖繩市史編集委員会委員
- 一九八二年 沖繩国際大学南島文化研究所特別研究員
- 一九八二年 沖繩研究国際シンポジウム（於那覇市）で研究報告
- 一九八三年 読谷村史編集委員会委員
- 一九八三年 多良間村史編集委員会委員
- 一九八三年 沖繩コンベンションセンター建設基本構想ワーキング委員
- 一九八四年 宜野座村誌編集委員会委員
- 一九八四年 ピースフルラブ・ロックフェスティバル実行委員会代表
- 一九八五年 那覇市都市景観審議会委員
- 一九八五年 沖繩・福建シンポジウム（於福州市）で報告・討論
- 一九八五年 伊是名村史編集委員会委員
- 一九八六年 首里城正殿基本設計検討委員会委員
- 一九八六年 第1回中琉歴史関係国際学術会議（於台北市）で研究報告
- 一九八七年 首里城正殿予備設計検討委員会委員
- 一九八七年 琉球王国評定所文書編集委員会委員

- 一九八八年 首里城正殿実施設計検討委員会委員
- 一九八八年 歴史学研究会全体会（於中央大学）で研究報告
- 一九八九年 沖縄開発庁沖縄振興開発審議会委員
- 一九八九年 沖縄県警察史監修委員
- 一九九〇年 九州大学九州文化史研究施設研究員
- 一九九一年 那覇家庭裁判所参与員
- 一九九一年 名護市立図書館建設計画審議会委員
- 一九九一年 ユネスコ主催海のシルクロード国際シンポジウム（於泉州市）で研究報告
- 一九九一年 具志川市史編さん委員会委員
- 一九九一年 首里城公園展示検討委員会委員
- 一九九二年 NHK大河ドラマ「琉球の風」監修者
- 一九九二年 沖縄地方酒類審議会委員
- 一九九三年 沖縄県歴代宝案編集調査委員会委員
- 一九九三年 国際日本文化研究センター共同研究員
- 一九九三年 糸満市立図書館建設委員会委員
- 一九九三年 アユタヤ歴史研究センター主催国際学術会議で研究報告
- 一九九四年 国際琉球研究学会（於ハーバード大学）で研究報告
- 一九九四年 ポン大学主催国際ワークショップで研究報告

- 一九九五年 国立歴史民俗博物館客員教授
- 一九九五年 国務省の招待で1か月間、米国各地を視察
- 一九九七年 科研基盤研究(B)「沖縄県多良間島における伝統的社会システムの形態と変容に関する総合的研究」
研究代表者
- 一九九七年 沖縄総合事務局琉球歴史回廊検討委員会委員
- 一九九七年 新沖縄県史編集委員会委員
- 一九九八年 尚家関係資料総合調査委員会委員
- 一九九九年 稲嶺恵一知事政策アドバイザリーボード委員
- 一九九九年 小渕恵三首相私的懇談会21世紀日本の構想委員
- 一九九九年 沖縄県振興開発審議会委員
- 二〇〇〇年 モスクワ総合大学、フンボルト大学、ボン大学およびマレーシア日本研究学会・マラッカ州立図書館で講演
- 二〇〇一年 海洋博覧会記念公園管理財団評議員
- 二〇〇一年 科研基盤研究(B)「琉球と日本本土の遷移地域としてのトカラ列島の歴史的位置づけをめぐる総合的研究」研究代表者
- 二〇〇一年 沖縄平和賞検討委員会委員
- 二〇〇一年 史跡浦添城跡整備委員会委員
- 二〇〇一年 沖縄県歴代宝案編集委員会委員

- 二〇〇二年 日本学術振興会特別研究員等審査会専門委員
- 二〇〇二年 福建師範大学閩台区域研究中心学術委員会委員
- 二〇〇三年 沖縄県立博物館新館展示監修委員
- 二〇〇四年 鹿児島大学法文学部で集中講義
- 二〇〇四年 沖縄クエスチョン日米行動委員会副座長
- 二〇〇四年 大阪大学主催国際ワークショップ（於那覇市）で基調報告
- 二〇〇五年 科研基盤研究（B）「沖縄の災害情報に関する歴史文献を主体とした総合的研究」研究代表者
- 二〇〇六年 文化審議会文化財分科会専門委員
- 二〇〇七年 九州国立博物館評議員会評議員
- 二〇〇八年 奄美市歴史文化構想等策定専門委員会委員
- 二〇〇八年 沖縄県立博物館・美術館協議会委員
- 二〇〇九年 日本学術振興会科学研究費委員会専門委員
- 二〇〇九年 沖縄協会沖縄研究奨励賞選考委員
- 二〇〇九年 琉球大学史学会会長
- 二〇一〇年 中城御殿整備検討委員会委員
- 二〇一一年 沖縄科学技術大学院大学評議員
- 二〇一一年 大阪大学大学院で集中講義
- 二〇一一年 NHKBS時代劇「テンペスト」時代考証担当

二〇一一年 科研基盤研究（B）「近世琉球社会における言語運用の諸相に関する総合的研究」研究代表者
二〇一二年 内閣御殿保存管理計画策定委員会委員など

単著

- 一九八〇年 『沖繩歴史論序説』 三一書房
一九八〇年 『琉球の時代―大いなる歴史像を求めて』 筑摩書房
一九八一年 『沖繩歴史への視点』 沖繩タイムス社
一九八二年 『御教条の世界―古典で考える沖繩歴史』 ひるぎ社
一九八四年 『おきなわ歴史物語』 ひるぎ社
一九八六年 『続おきなわ歴史物語』 ひるぎ社
一九八七年 『琉球王国の構造』 吉川弘文館
一九八九年 『新版・琉球の時代―大いなる歴史像を求めて』 ひるぎ社
一九八九年 『琉球王国史の課題』 ひるぎ社
一九九三年 『琉球王国』 岩波書店
一九九五年 『切ない沖繩の日々』 ボーダーインク
一九九七年 『「沖繩」批判序説』 ひるぎ社
一九九八年 『アジアのなかの琉球王国』 吉川弘文館

- 二〇〇八年 『琉球王国』（韓国語版） 翰林大学
 二〇一一年 『琉球王国史の探求』 榕樹書林
 二〇一二年 『琉球の時代―大いなる歴史像を求めて』 筑摩書房（文庫版）など

共著・編著

- 一九七二年 『伊波普猷―沖繩史像とその思想』（金城正篤） 清水書院
 一九七六年 『沖繩県史』 第一卷（通史） 沖繩県教育委員会
 一九七七年 『沖繩県史』 別巻（沖繩近代史辞典） 沖繩県教育委員会
 一九七七年 『沖繩県の歴史散歩』（沖繩歴史研究会編） 山川出版社
 一九八一年 『浦添市史』 第二巻・資料編1 浦添市教育委員会
 一九八三年 『渡名喜村史』 上巻 渡名喜村役場
 一九八四年 『沖繩市史』 第二巻・資料編1 沖繩市教育委員会
 一九八五年 『宜野湾市史』 第四巻・資料編3 宜野湾市教育委員会
 一九八六年 『多良間村史』 第二巻（王国時代の記録） 多良間村
 一九八六年 『沖繩・奄美と日本』（谷川健一・大山鱗五郎） 同成社
 一九八六年 『琉球から沖繩へ』（大塚勝久） ポプラ社
 一九八七年 『企画展・ある首里士族の四〇〇年』 沖繩県立博物館

- 一九八八年 『宜野座村誌』 第四卷・文献資料上 宜野座村役場
- 一九八九年 『浦添市史』 第一卷・通史編 浦添市教育委員会
- 一九八九年 『伊是名村史』 中巻（島の古文書） 伊是名村
- 一九八九年 『写真で見る伊是名村の文化財』 伊是名村
- 一九八九年 『首里城入門』（首里城研究グループ編） ひるぎ社
- 一九八九年 『新琉球史』 近世編上 琉球新報社
- 一九九〇年 『新琉球史』 近世編下 琉球新報社
- 一九九一年 『新琉球史』 古琉球編 琉球新報社
- 一九九二年 『TURASOE 歴史たんけんブック』 浦添市教育委員会
- 一九九二年 『新琉球史』 近代・現代編 琉球新報社
- 一九九三年 『図説・琉球王国』（田名真之） 河出書房新社
- 一九九六年 『新しい琉球史像』（豊見山和行・真栄平房昭） 榕樹書林
- 一九九七年 『ペリーと大琉球』（玉城朋彦） 琉球放送株式会社
- 一九九八年 『沖繩の自己検証』（真栄城守定・牧野浩隆） ひるぎ社
- 一九九八年 『首里城ハンドブック』 首里城公園友の会
- 一九九九年 『沖繩県における文化諸施設の現況と課題』 南西地域産業活性化センター
- 二〇〇〇年 『沖繩イニシアティブ』（真栄城守定・大城常夫） ひるぎ社
- 二〇〇〇年 『沖縄県多良間島における伝統的社會システムの実際と変容に関する総合的研究』（代表・高良倉吉）

琉球大学法文学部

- 二〇〇一年 『周縁から見た中世日本―日本の歴史14巻』（大石直正・高橋公明） 講談社
- 二〇〇二年 『沖縄県の地名―日本歴史地名大系48』 平凡社
- 二〇〇二年 『沖縄県における地域歴史書刊行の意義と課題』 南西地域産業活性化センター
- 二〇〇四年 『琉球と日本本土の遷移地域としてのトカラ列島の歴史的位置づけをめぐる総合的研究』（代表・高良倉吉） 琉球大学法文学部
- 二〇〇五年 『琉球・沖縄と海上の道―街道の日本史56』（豊見山和行） 吉川弘文館
- 二〇〇七年 『中台関係・日米同盟・沖縄』（橋本晃和・マイクⅡモチヅキ） 冬至書房
- 二〇〇七年 『沖縄問題』とは何か』（仲里効） 弦書房
- 二〇〇八年 『沖縄の災害情報に関する歴史文献を主体とした総合的研究』（代表・高良倉吉） 琉球大学法文学部
- 二〇〇八年 『The Japan-U.S.Alliance and China-Taiwan Relations』（橋本晃和・マイクⅡモチヅキ） ジョージワシントン大学
- 二〇一〇年 『日米中トライアングルと沖縄クエスチョン』（橋本晃和・マイクⅡモチヅキ） 冬至書房
- 二〇一二年 『琉球王国のグスク―日本の世界遺産11』 朝日新聞出版など